

2012

1

vol.730

NIITSU HOT にいつホットステーション

Station

今月号の紙面

- ・役員・議員・振興委員
- ・紙上名刺交換
- ・各種団体
- ・新春賀詞交歓会案内

ただいま会員募集中!

発行所 新津商工会議所 編集発行人 里村 進 毎月1回発行

〒956-0864 新潟県新潟市秋葉区新津本町3丁目1番7号 TEL 0250(22)0121 FAX 0250(25)2332 Email:n-cci@fsinet.or.jp URL http://www.niitsu.or.jp/



— 花と食と鉄道の街 新津 —

写真右側：磐越西線を疾走する「SLばんえつ物語号」、左側上：冬の花「クリスマスローズ」、左側下：プチヴェールを使ったお菓子「ぶち森シリーズ」

新年のご挨拶

新津商工会議所会頭

馬場 欣一



新年明けましておめでとうございます。平成24年の年頭に当たり、今年こそ「日本経済が再生し、災害もなく、企業、個人ともに、安心して幸せに暮らせる明るい年になる様に」心から祈りたいと思います。会員の皆様には、昨年は当商工会議所に多大なるご支援とご協力を頂き厚くお礼を申し上げます。

昨年は、経済、政治、社会面において、あまりにも色々なことが起こった激動の一年でありました。特に3月11日に発生したマグニチュード9.0の巨大地震による津波の襲来、その影響を受けた福島第一原発事故の発生など、私達は今まで経験したことのない様な悲惨な体験をすることになりました。まず、経済面では、東日本大震災後の日本経済は依然として厳しい状況にあります。震災の復旧・復興も遅れ気味の上、福島原発事故の後遺症である放射性物質の拡散、風評被害の拡大など、直接的に影響が増大しています。

一方、ギリシャに端を発したヨーロッパの債務危機の深刻化と世界景気の後退懸念や円高の進行、株価下落などにより企業は甚大な影響を受けており、日本経済を取り巻く環境は悪化し、先行きが心配されます。政府には、予算措置を含め震災の復興を本格的な軌道に乗せるとともに、超円高、国内産業の空洞化、不況に苦しむ中小企業などの対策を着実に実施して、日本経済の再生に全力で当たって頂きたいのであります。政治面では、震災後の対応のまずさから8月に菅内閣が辞任し、9月に野田内閣が発足しました。野田内閣には、外交、経済、内政などの内外に山積している諸課題を、迅速かつ的確に対処して頂くことを期待したいと思います。

社会面では、大震災の被害のほか、新潟・福島豪雨など度重なる水害の発生により全国的に大きな被害が発生しました。福島の原発事故もまだ収束の目処も立たず引き続き経済活動や国民生活に大きな影響を落としています。そんな中で明るい話題は、女子サッカー「なでしこジャパン」の活躍です。ドイツワールドカップで優勝するとともに、ロンドンオリンピックの出場も決めました。大震災で国民が打ちひしがれている中での快挙であり、私達に勇気と希望を与えてくれました。

新潟県の経済は、東日本大震災の発生以降では、県内企業にも直接的、間接的に影響が出ております。依然として厳しい状況下にあるもの、持ち直している企業も出ています。県内上場企業の業績は製造業や大手小売業などで回復していますが、先行きについては円高や海外経済の減速懸念などの影響から不安視する企業が多いようです。

一方、足元の新潟地域の経済については、依然として厳しさが続いております。当会議所が会員企業に実施している直近の「新潟地域景況調査」でも、総ての

企業の売上高、採算、資金繰り、業況が悪化していることが認められます。雇用環境も、若干好転しているものの、依然として県内平均を下回るなど、厳しい状況にあります。商店街でも、大型店との競争の激化のほか、個人消費の低調の影響を受け、個店の業績は低迷しています。廃業による空き店舗も増加しており、先行きが大変心配されます。

こうした厳しい経済環境の中で、当会議所は昨年各種事業を着実に実施しました。まず、厳しい不況が続く中で、相談事業の強化に努め、会員のために、金融、経営、労務等の相談に積極的に応じております。ほか、経営に役立つセミナーや講演会の開催に努めております。

地域活性化事業では、「街なかガーデンング事業」、「にいつ食の陣(春・秋)」、「新津あおぞら市場(春・秋)」を実施しました。空き店舗事業の一環として実施した青年部運営による「駄菓子やC57」は子供から大人まで大勢のファンを集めました。これらの事業は地域住民の皆様からも認知され、定着化するとともに、商店街の賑わいの創出に寄与しています。また、地域振興事業としては、「JAPANブランド育成支援事業(新津の花事業の振興・拡大)」、「農工商連携事業(地元食材を使った新商品の開発、販路拡大等)」を継続実施し、産業振興に努めました。今年もこれら一連の事業を継続実施して、不況に喘ぐ新潟地域が些かなりとも元気を取り戻せればと願っております。

また、昨年春から、新津駅前地域の再開発・整備も含めた活性化策等を検討する勉強会(地域住民、商店街、行政、会議所有志による)を本格化させ、同地域への「鉄道資料館」の移転を核とした、新しい街づくりに挑戦することになりました。

「鉄道資料館」の移転を含めた新しい街づくりについては、会議所内にも、特別委員会を設置してこれから具体化のための環境整備等の諸活動をして参ります。皆様方からも是非ともご支援を頂きたいと思っております。

時代の変遷とともに、会議所を取り巻く環境も大きく変わり、果たすべき使命も大きくなって来ております。

このような状況の中で、当会議所は会員のサポート役に一層徹することは勿論、加えて「地域との共生を図り、地域とともに生きる」特色ある地域総合経済団体としての役割を担って参ります。そして会員だけでなく、地域住民からも愛され、頼りにされる会議所の実現を目指し、役員一同、一層研鑽努力して参ります。

会員の皆様におかれましては、辰年の今年一年が、昇竜の勢いで益々社業が発展し、充実した年になります様に、ご期待申し上げますとともに、ご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。